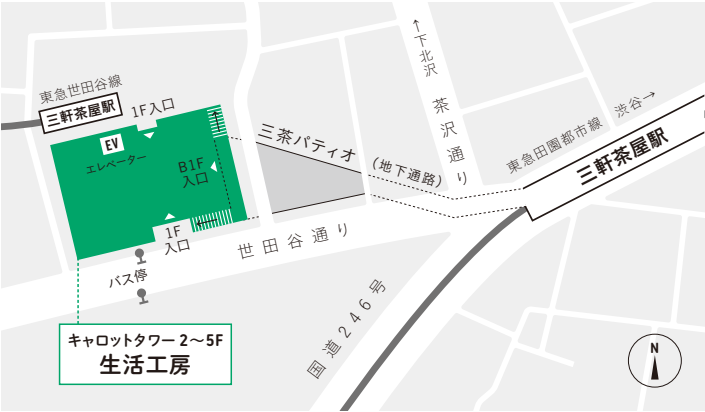


施設案内

5F	セミナールーム A・B 生活工房受付	音響・映像設備を備え、講習会や会議を行うことができます(定員48名)。A・Bの仕切りを外せば最大120名収容(机使用時は108名)。	 
4F	ワークショップルーム A・B	「A」はキッチンや調理器具などを備えた“ものづくり”スペース。「B」は可動パネルにより多様な展示に対応したスペース。	 
3F	生活工房ギャラリー 市民活動支援コーナー	生活や文化に関する様々なデザインを独自の視点で提案・発信する展示スペース。新たな発見が暮らしを彩ります。 世田谷で活動する市民活動団体のため、打合せや作業スペース、プリンタや印刷機などを備えています。	 
2F	八角堂	現在リニューアル工事中です。ご迷惑をおかけしております。	

- トイレにはおむつ交換台があります。個室にチャイルドシートはありません。
 - 5Fには授乳室、3Fの多目的トイレにはオストメイト用設備を備えています。
- 施設のご利用について 詳しくは生活工房ホームページをご覧ください。

アクセス

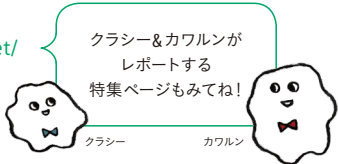


- 東急田園都市線「三軒茶屋」駅 三茶パティオ口徒歩5分
地下通路よりB1F入口に入り、キャロットタワー内のエレベーターをご利用ください。
- 東急世田谷線「三軒茶屋」駅 直結 ●東急・小田急バス「三軒茶屋」停留所そば

お問い合わせ

(公財) せたがや文化財団 世田谷文化生活情報センター 生活工房
〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー
TEL 03-5432-1543 / FAX 03-5432-1559

website <http://www.setagaya-ldc.net/>
twitter @setagaya_ldc
facebook 生活工房



Design: Nakazo Katayama

PICK UP

1

14歳の夏をお届けします

生活工房では、2011年から中学2年生女子限定のワークショップ「14歳のワンピース」を開催しています。今を生きる14歳はどんなことを感じて、考えて、暮らしているのだろう、その気持ちを具現化したら、どんなものが生まれるのだろう、そんな問いからワークショップは生まれました。

講師をつとめるのはファッションブランドspoken words projectのデザイナー・飛田正浩さん。spoken words=詩の朗読の事であることにちなみ、参加者が自分の好きな歌詞やポエムなど、言葉を集めてくることをワークショップの起点としています。そして毎年回を重ねるごとに、どのように14歳の気持ちを引き出すか、対話していくか、手法を試行錯誤しながら、企画を育ててきました。

今回のワークショップは、昨年の夏休み期間に4日間開催し、はじめの3日間で言葉の発表とデザインの計画、プリント制作をし、そして約1か月後に仕立てあがったワンピースを着て撮影会を行いました。

本展では、そのプロセスを記録写真と共にレポートし、14歳のまぶしい夏の思い出をお届けします。

さらに、20歳となった第1回目の参加者と飛田さんの特別対談をご紹介します、7年目を迎えた企画を「トリビュート! 14歳のワンピース」と題して振り返ります。



写真: ゆかい

EXHIBITION

子どもワークショップ2017 報告展

14歳のワンピース 展

4.19 (木) → 5.13 (日) 9:00~20:00 入場無料 会場: 生活工房ギャラリー



DAY5 国際フォトジャーナリズム大賞2018 2位「ロヒンギヤ難民 迫害から逃れて」ポーラ・ブロンスティン (Getty Images)

フォトジャーナリストが伝える世界の厳しい現実

PICK UP

2

月刊誌『DAYS JAPAN』では「人間と地球が抱える問題を鋭く伝えるフォトジャーナリズム作品」を主題にした「DAYS 国際フォトジャーナリズム大賞」を設けています。今年も生活工房では受賞作品を中心とした写真展を開催します。

戦争、紛争、飢餓、貧困、差別問題、児童労働、難民の問題、自然環境破壊の現状。この瞬間にも世界各地には、未だ解決されない様々な問題のなかで暮らしている人々がたくさんいます。その現実を映した作品群は、死と隣り合わせの現場に立ちながら、過酷な世界の現状を伝えるフォトジャーナリストからの命を映すメッセージでもあります。

国内外のフォトジャーナリストが撮影した紛れもない世界の現実とは、同じ時代を生きる私たちに向けられた、進むべき未来に対する問いかけです。

世界に広がる厳しい現状に対して、私たちは何を考えて、何ができるのでしょうか?

その解答は簡単に見いだせないとしても、写真展を通じて、世界、そして日本が直面している問題と向き合い、一歩でも前に踏み出すきっかけになることを願います。

EXHIBITION

DAYS JAPAN 写真展2018 地球の上に生きる世界の未来をつくるために

5.19 (土) → 6.10 (日) 月曜休み 11:00~19:00 (最終日は17:00まで) 入場無料
会場: 生活工房ギャラリー / ワークショップルームB

2018 EVENT GUIDE

みる×しる×つくる＝暮らしがかわる。

世田谷文化生活情報センター
生活工房
Lifestyle Design Center



市民活動支援コーナーの日々展2018

3.23(金) → 4.15(日)

9:00～20:00 入場無料
会場：生活工房ギャラリー

生活工房「市民活動支援コーナー」のさまざまな登録団体が制作した作品やパネルを通して、その日常的な活動を紹介する展覧会です。



主催 市民活動支援コーナー

子どもワークショップ2017 報告展

14歳のワンピース 展

4.19(木) → 5.13(日) 9:00～20:00 入場無料

会場：生活工房ギャラリー



写真：ゆかい

昨年の夏休みに開催した14歳女子限定のワークショップの報告展です。オリジナルのテキスタイルをデザインした3日間のワークショップと完成したワンピースを身にまとい行った撮影会の様子を写真と共に紹介します。「私を表現すること」「デザインすること」にじっくり向き合った14歳の夏の記録をご覧ください。

世田谷アートフリマ vol.29

4.21(土) | 22(日) 11:00～17:00 入場無料

会場：セミナールームA・B／ワークショップルームA・B／市民活動支援コーナー



2日間で延べ160組のアーティストが集まる“ものづくりの祭典”。手作りの雑貨やアクセサリ、クラフト作品の販売やその場で体験できるワークショップも。お気に入りの探しに遊びにきてください！

アートフリマ公式HP <http://artfleama.net/>
※出展者募集の締切日は、3月19日(必着)です。

ワークショップ ①～③すべて申込不要、当日直接会場へ

① シルクスクリーンで招き猫トートバッグを刷ろう

4.21(土) | 22(日)
11:00～17:00(途中休憩あり)

シルクスクリーンでトートバッグに招き猫キャラクターをプリントします。

講師 arte-te(アルテ・テ) 対象 小学生以上
定員 各日20名程度 参加費 500円(材料費込)
申込 予約不要(当日会場にて)



② 新聞紙で鯉のぼりを作ろう

4.21(土) | 22(日)
11:00～17:00(途中休憩あり)

のりで固めた新聞紙に目玉とウロコを貼って鯉のぼりを作ります。

講師 小沢栄一 対象 小学生以上 定員 各日20名程度
参加費 200円(材料費込) 申込 予約不要(当日会場にて)



③ 樹脂粘土で招き猫ストラップを作ろう

4.21(土) 13:00～14:00／15:00～16:00

樹脂粘土を使って、招き猫のストラップを作ります。2種類から選べます。

講師 コヤナギアイコ 対象 小学生以上 定員 各回5名程度
参加費 500円 申込 予約不要(当日会場にて)



DAYS JAPAN 写真展2018 地球の上に生きる世界の未来をつくるために

5.19(土) → 6.10(日) 月曜休み

11:00～19:00(最終日は17:00まで) 入場無料
会場：生活工房ギャラリー
ワークショップルームB

世界の厳しい現実を伝える月刊誌『DAYS JAPAN』主催による「DAYS国際フォトジャーナリズム大賞2018」受賞作の写真展。

共催 (株) デイズジャパン 企画 (株) 世田谷社

※関連企画など、詳細は4月中旬にホームページでお知らせします。



DAYS国際フォトジャーナリズム大賞2018 1位
「イラク・モスル 逃げ惑う人々」
ローレン・ファン・デル・ストック
(Le Monde / Getty Reportage)

折紙生活展

——もしも折紙が日常に折り込まれたら!?

6.16(土) → 7.16(月・祝) 9:00～20:00 入場無料

会場：生活工房ギャラリー



トイレットペーパーで折った「小便小僧」

トイレットペーパーの三角折りやハンカチをたたむなど、日常の中にはたくさんの「折る」という所作がひそんでいます。「紙を折ることが生活の細部をもっと楽しくする!」折紙がひそむ「もしも」の日常空間を提案します。

トイレで芸術! トイレットペーパー折紙づくり

ワークショップ

7.15(日) ①13:30～15:00 ②16:00～17:30 ※各回完結

会場：ワークショップルームA

トイレットペーパーの端を三角に折る日本独自の所作。そこにユーモアを加えて、「ハート」や「宇宙人」などのモチーフを自分で折ってみよう。

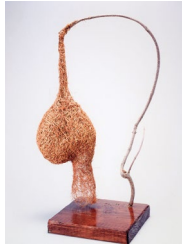
講師 折紙創作集団スクエア 対象 小学1年生以上(小学3年生以下は要保護者付添)
参加費 1,000円(材料費込)／各30名(抽選)

申込 7月1日(必着) までに往復ハガキかメールにて

第42回世田谷おはなしネットワーク講演会 絵本と鳥の巣の不思議

6.21(木) 13:00～15:30 会場：セミナールームA・B

鈴木まもるさんは、代表作『ビン・ボン・パス』『がんばれ! パトカー』(偕成社)などで知られる絵本作家であり、鳥の巣の収集と研究を重ねる鳥の巣研究家でもあります。本講演会では、実物の不思議な鳥の巣を見ながら、自然や絵本、子育てなどについて、お話しいたします。

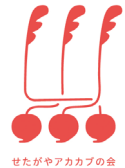


鳥の巣：キムネコウヨウジャク

講師 鈴木まもる(絵本作家・鳥の巣研究家) 主催 世田谷おはなしネットワーク
参加費 100円／20名(抽選) 申込 5月19日(必着) までに往復ハガキにて

せたがやアカカブの会 会員募集中!

昭和30～50年代に普及し、当時の暮らしぶりが記録された8ミリフィルム。本会は、そのアーカイブに取り組むプロジェクト「穴アーカイブ」でデジタル化した映像をじっくり観ながら語り合う、小さな集いの場です。ほぼ隔月で開催しています。お気軽にお越しください。



せたがやアカカブの会

企画制作：remo [NPO法人記録と表現とメディアのための組織]

※詳細は5月中旬にホームページでお知らせします。

朗読講座 豊かなことばの世界

暮らしを豊かにすることばの世界を「朗読」を通して楽しむ講座です。NHK日本語センターアナウンサーが、声の出し方、聞き手に伝えるための読み方を丁寧に指導します。

① 水曜講座(午前・午後) 〈名作を読む〉
4.4(水) | 11(水) | 18(水) | 25(水) 各回10:30～12:30／13:30～15:30
講師：岩井正(NHK日本語センター) 作品：大岡信著『言葉の力』

② 木曜講座(午後) 〈はじめての朗読〉
4.5(木) | 12(木) | 26(木) | 5.10(木) 各回13:30～15:30
講師：秋山隆(NHK日本語センター) 作品：芥川龍之介著『杜子春』

③ 金曜講座(午後) 〈はじめての朗読〉
4.6(金) | 13(金) | 27(金) | 5.11(金) 各回13:30～15:30
講師：金野正人(NHK日本語センター) 作品：井上ひさし著『四千万歩の男』

会場：セミナールームA
受講料(4回分)：一般20,500円、せたがやアートカード会員18,500円／15名(申込先着)
問・申込：(一財)NHK放送研修センター
TEL 03-3415-7121(受付時間9:00～18:00) HP <http://www.nhk-cti.jp/>



ワークショップ／セミナーの申込方法

●電話 03-5432-1543 ●往復ハガキ／メール[希望イベント名・希望日・住所・氏名・年齢(学生は学校名・学年も)・電話番号を明記の上、下記宛先まで]
ハガキ：154-0004 世田谷区太子堂4-1-1キャロットタワー 生活工房宛
メール：info@setagaya-ldc.net(件名に希望イベント名を明記)